

平成 27 年度 第 1 回越前町地域公共交通会議

議 事 録

開催日時：平成 27 年 4 月 28 日(火)

午後 2 時 30 分～午後 4 時 20 分まで

開催場所：越前町役場 別館 2 階 大会議室

●出席者

・ 委 員：15 名

(欠席者 5 名 矢部委員、梅沢委員、木下委員、河原委員、吉村委員)

・ 事務局：4 名 渡邊総務理事、畑企画財政課長、佐々木課長補佐、
佐々木主査

●議事概要

(1) 平成 26 年度コミュニティバスおよび路線バスの状況について

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	説明のとおりコミュニティバスの利用者数は平成 21 年から減少傾向にあるということです。何か質問はありますか。
伊部委員	コミュニティバス・路線バスの運行ですが、県道武生米ノ線が整備され、バスの運行がしやすくなりました。越前地区の南方面から千合谷経由で越前市方面へ向かうバスを運行できないか。
事務局	平成 27 年 1 月に越前地区の南方面で実施した「バス運行に関するアンケート」結果によると、コミュニティバスや路線バスを千合谷へ接続した場合、87 世帯の方が利用するという回答があり、白山線（越前武生～千合谷）を茂原まで延伸した場合の運行費にかかる負担金を試算すると、武生越前海岸線の利用客が千合谷線に流れることで、武生越前海岸線の利用者減という影響も想定され、町の負担金が毎年 400 万程度増えると見込まれます。 新たな利用客が増えなければ武生越前海岸線と競合し、2 路線で利用者を分け合うこととなり、結果として武生越前海岸線が国庫補助対象路線から外れる時期が早くなります。国庫路線から外れると 760 万程度の増が見込まれ（増額分の合計で 1160 万円程度）、さらには路線バスの減便につながる可能性もあります。 今後は既存の路線を確保していくためにも、ここ数年大幅な減少傾向にある

	<p>武生越前海岸線、鯖浦線、福浦線の利用者数を維持しながら、更には新たな利用者を増やす手立てを考える必要があります。</p> <p>福井鉄道の乗降調査（H26.6月）を分析すると、茂原から南方面の人で越前市方面へ向かう人は、実人数で1日約6、7名程度しかいない現状です。白山線を千合谷経由で延伸した場合、それらの人数が武生越前海岸線から乗り替えると想定されます。</p> <p>上記の状況を踏まえ、今後更に詳細な乗降調査を実施し、その結果多数の利用者が見込まれるのであれば、町としては限られた予算の中で白山線の茂原延伸の実現の可能性を検討しますが、現状の調査結果のとおり6、7名程度であれば千合谷経由のバスの運行は難しいと考えています。</p>
伊部委員	<p>越前地区から福井方面の学校へ通学する場合、通学定期代が24万円程度かかる。この定期代を購入者が分割で支払うことができる購入しやすい形を福井鉄道へ要望して欲しい。また、現在のバス通学専用のキャンパス定期を電車・バス両方で使えるようにできないか、併せて福井鉄道へ要望して欲しい。</p>
畑課長	<p>福井鉄道へ依頼しているが実施するのは難しいと聞いており、利用者が分割して購入できるような新たな枠組みを検討していく必要があると考えています。</p>
事務局	<p>キャンパス定期については電車・バス両方で使えるタイプのキャンパス定期の販売を福井鉄道へ要望しています。</p>
浅沼副会長	<p>路線バスの負担金とコミュニティバス運行費を合わせて9,800万円程度かかっており、人口22,000人の町で一人当たり4,500円程度かかっている現状があります。このような現状を考えると、新たな路線を増やすよりも、少子高齢化により利用者が減っていくことが想定される中では、現状の路線を維持していくことが重要だと思います。</p> <p>他にご異議がなければ承認とさせていただきます。</p>

(2) 越前町地域内フィーダー系統確保保持計画（案）について

事務局	事務局より説明
北川委員 (福井県)	鯖浦線は国庫補助対象路線ではないと思うが、本計画に記載されているのはどうしてか。
岡田委員 (運輸支局)	6月に福井運輸支局へ提出される国庫補助申請を見ないと国庫補助対象路線となるのか、国庫補助の対象から外れるかどうかは分からないが、今の所は国庫補助対象路線であるので、鯖浦線が記載されていても問題ありません。
浅沼副会長	7ページに記載されている、地域内フィーダー系統の国庫補助要件の①、③はどのような要件なのか？
岡田委員 (運輸支局)	要件の①は国庫補助対象となっている地域間幹線系統に接続するフィーダー系統路線であること、③は前年度の国庫補助対象期間に本事業による補助金の交付を受けたものです。

浅沼副会長	分かりました。他に質問もないようですので、越前町地域フィーダー系統確保維持計画（案）につきまして承認とさせていただきます。
-------	---

(3) 京福バス・福井鉄道バス路線の一部見直しについて

事務局	京福バス路線「清水織田線」の一部見直しについて事務局より説明 清水織田線の一部を定時定路線からデマンド便(ほやほや号)へ変更する。 福井鉄道バス路線「鯖浦線(かれい崎)」のルートの一部見直しについて説明 「鯖浦線(かれい崎)」をメルシ経由へ変更する。
浅沼副会長	只今説明のあった路線バスの見直しですが、見直しに至った経緯は？
事務局	京福バスの見直しについては、利用者の利便性と運行費用について京福バスと町が協議し、1日当たりの乗車人数が1.5人以下についてはデマンド運行としてはどうかということになり、その結果として今回の便をデマンド(ほやほや号)に変更する予定です。 福井鉄道の見直しについては、鯖浦線(かれい崎)が国庫補助対象から外れることが見込まれており、少しでも利用者を増やす改善案として、事業者である福井鉄道と町、県が協議した案の一つです。
浅沼副会長	分かりました。
北川委員	路線の見直しについての利用者、住民への周知はどうするのか？
事務局	具体的には決めておりませんが、町の広報やバスの車内掲示等を考えております。
北川委員	分かりました。
浅沼副会長	他に質問もないようですので、京福路線バス・福井鉄道バス路線の一部見直しにつきまして承認とさせていただきます。

(4) その他

浅沼副会長	質問はありますか。 越前町地域交通計画が平成28年3月で切れる予定であるが。
事務局	今年度に第三次越前町地域交通計画の策定を予定しており、本交通会議においても協議をお願いすることとなりますので、ご協力をお願いします。
浅沼副会長	他に何かありますか。無いようですので、以上を持ちまして会議を終了します。